

授業科目名・形態	基礎助産学 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 優子・	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

ライフサイクル各期における女性及び妊産褥婦を理解するために、必要な女性生殖器の構造と機能について深く学ぶ。さらに生殖器に関連した病態生理、疾患、検査、治療について学び、思春期から老年期までの女性の健康問題に対するケアや支援をするために必要な知識を学ぶ。また、周産期の異常と検査・治療・処置についても学ぶ。

【到達目標】

1. 女性および男性の生殖器の正常な構造と機能について基礎的な知識の理解を深める。
2. 妊娠の成立と維持の機序と母体の身体的変化について理解を深める。
3. 性の正常な機能と障害について考えることができる。
4. 不妊症、遺伝疾患、母子感染症などについて学び、これらの問題を抱える女性や母子に対するケアや支援について理解できる。
5. ライフサイクル各期における健康問題とケア・支援について理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	母性の身体的特徴	(工藤)
第2回	妊娠の成立と母体の身体変化	(工藤)
第3回	不妊症と生殖補助医療	(工藤)
第4回	出生前診断と遺伝カウンセリング	(工藤)
第5回	母子と免疫	(工藤)
第6回	異常分娩と助産ケア①	(工藤)
第7回	異常分娩と助産ケア②	(工藤)
第8回	ライフサイクル各期における主な疾患と助産ケア①	(工藤)
第9回	ライフサイクル各期における主な疾患と助産ケア②	(工藤)
第10回	ライフサイクル各期における主な疾患と助産ケア③	(工藤)
第11回	周産期の異常①(妊娠期・分娩期)	()
第12回	周産期の異常②(産褥期・新生児期)	()
第13回	麻酔・薬剤・産科手術・器具	()
第14回	産科救急(出血・ショック)	()
第15回	周産期における超音波診断法	()

【授業実施方法】

基本的に講義形式で行う。

【授業準備】

テキスト、および関連書籍の該当頁を熟読し予習をすること。講義終了後は各自理解を深めるように講義内容をまとめること。

【主な関連する科目】

助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座2、基礎助産学[2]母子の基礎医学、医学書院

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座6、助産診断・技術学[1]Ⅱ妊娠期、医学書院

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座7、助産診断・技術学[2]Ⅱ分娩期・産褥期、医学書院

【参考文献】

日本産婦人科学会／日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科ガイドライン 産科編2017

武谷雄二他監修：プリンシプル産科婦人科学2産科編 第3版 MEDICAL VIEW

【成績評価方法】

筆記試験100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験あり。

助産師としての実務経験を踏まえ、事例などを提示し、講義内容の理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

授業を理解するため予習・復習は必須です。理解できなかった箇所は明確にして、調べる、教員に質問するなどして整理し、自身の言葉で説明できるように理解を深めましょう。